

第4章

みどりあふれる持続可能なエコタウン

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
				会計	投入コスト		活動実績(R3)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)
411	管財課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	予算の範囲内で効率的に低公害車の導入を進めた。	R3年度に改善した点	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに		
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	0千円	①導入台数	低公害車導入率	目標設定の考え方・根拠	R3年度に改善した点						
		根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②導入実績									
		低公害車導入事業	所沢市自動車管理規定、環境マネージメントシステム、埼玉県地球温暖化対策推進条例	7,473千円	7,473千円	③導入率	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析			R3年度に改善した点			
			事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①4台	98.0%	97.8%							
			良好な環境を将来の世代に引き継ぐことを目的としている埼玉県地球温暖化対策推進条例に基づき、大気汚染防止の観点から低公害車の導入を進めている。	0.70人	0人	②136台	98.0%	98.5%							
期間	H13~	0.68人	0人	③98.5%	R4目標		目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み							
		5,426千円			98.5%			今後、次世代自動車の導入を目指す車両選択、駐車場、充電施設等での課題が多い。							
								評価者 管財課長 浅見 仙隆	どのように貢献したか	環境にやさしい低公害車について、高い導入率を維持している。					
411	マチごとエコタウン推進課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	本事業を実施することによるCO2排出削減推定量	R3年度に改善した点	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11. 住み続けられるまちづくりを	
		-	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	65,000千円	64,617千円	①家庭用補助金交付	住宅のスマートハウス化を推進することで、市域からの二酸化炭素排出量を削減できるため、左記項目を指標とする。	R2目標	R2実績			R3目標値が未達成の理由・分析			
		根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②事業用補助金交付									
		スマートハウス化推進補助事業	-	65,000千円	63,736千円	③自治会・管理組合用補助金交付	R3目標	R3実績	R3目標値が未達成の理由・分析			R3年度に改善した点			
			事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	増加	524t-CO2							
			【目的】所沢市マチごとエコタウン推進計画に基づき、再生可能エネルギー利用設備や省エネルギー設備等を導入する市民及び事業者等に対して、予算の範囲内で、経費の一部を補助し、市域における再生可能エネルギーの導入及びエネルギーの効率的な利用をより一層推進する。	1.52人	0.2人	①805件	増加	578t-CO2							
期間	H31~	12,415千円	0.2人	②15件	R4目標		目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み							
		1.44人	0.2人	③1件	増加			市内の排出量半数以上を占める家庭と事業者の二酸化炭素の削減に効果的であることから、引き続き社会情勢や市場価格を鑑みながら、より効果的な実施方法を工夫しながら進めていく。							
		11,491千円						評価者 マチごとエコタウン推進課長 吉田美由紀	どのように貢献したか	スマートハウス化を推進したことにより、CO2削減を達成し、脱炭素社会に貢献できた。					
412	マチごとエコタウン推進課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	市域の再生可能エネルギー設備の総出力が12月末時点のデータにおいても成果目標を達成している。	R3年度に改善した点	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11. 住み続けられるまちづくりを	
		最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	65,045千円	64,767千円	①電力調達方針に基づき公共施設における環境にやさしい電力の利用推進	再生可能エネルギーの普及推進の中でも再生可能エネルギー設備の普及推進は脱炭素社会の構築に向けた最も重要な取組みの一つであるため、所沢市マチごとエコタウン推進計画の目標指標ともなっている、設備の総出力を指標とする。	R2目標	R2実績			R3目標値が未達成の理由・分析			
		根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②市域における再生可能エネルギーの普及推進									
		再生可能エネルギー普及推進事業	-	64,713千円	64,551千円	③所沢版RE100の推進	R3目標	R3実績	R3目標値が未達成の理由・分析			R3年度に改善した点			
			事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	低圧公共施設180件で電力供給開始	低圧公共施設182件で電力供給開始							
			市が率先して環境にやさしい電力を利用するなど、再生可能エネルギーの普及推進を図ることにより、市域における温室効果ガス排出量の削減につなげていくものである。	2.21人	0人	①高圧公共施設105件、低圧公共施設265件で環境にやさしい電力の調達を推進した。	40.1MW	40.5MW(12月末時点)							
期間	H30~	18,051千円	0人	②ソーラーシェアリングにおける市民団体や業界団体の視察対応を積極的に実施した。	R4目標		目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み							
		2.66人	0人	③本庁舎、市民医療センター、上下水道局庁舎に加え、保健センター、まちづくりセンター、こどもと福祉の未来館において、「RE100の日」を実施。	41.3MW			市内の太陽光発電設備の更なる普及及び環境にやさしい電力の利用促進を図るため、新たに0円太陽光推進補助事業や(株)ところざわ未来電力と連携した市民・事業者への啓発を進めていく。							
		21,227千円						評価者 マチごとエコタウン推進課長 吉田美由紀	どのように貢献したか	再生可能エネルギーの普及推進により、二酸化炭素排出係数の低い(株)ところざわ未来電力から電力を調達することで、市の施設から排出される二酸化炭素を大幅に削減した。					

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)								
				会計	投入コスト		活動実績(R3)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)							
412	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	S	LED化したことで照度が上がり、市民が安全にスポーツを楽しめる環境整備と同時に省電力化による環境配慮を促進した。	R3年度に改善した点	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに									
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加											6,312千円	6,312千円	①市民体育館R2年度年間電気料	電気料削減比率 (当年電気料÷工事前年電気料×100) 市民体育館30年度年間電気料28,145,180円	照明灯をLED化することで、電気料は50%以上の削減が見込めるところではあるが、設置個所のみ電気料が算出できず、館(市民体育館と総合運動場)全体となってしまうため、そのことを考慮し、70%とした。			
		根拠法令												R3予算現額	R3決算額(見込み)	②市民体育館R3年度年間電気料					
		スポーツ基本法、所沢市体育施設設置及び管理条例												6,312千円	6,312千円	③					
		事業の目的及び具体的な内容												R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	R2目標			R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析	
		所沢市民体育館、地区体育館の照明として水銀灯が使用されていたが、LED化することで照度を上げ、利用者の利便性を図ると共にCO ₂ 排出量の削減及び光熱費等維持管理の縮減を図った。												0.01人	0人	実績			70.0%	60.0%	4月から7月まで市民体育館が新型コロナウイルス感染症ワクチンの集団接種会場となったことで、照明や冷房の使用時間が長くなったこと、猛暑の影響が考えられる。
期間	H30~	82千円	0人	①16,881,304円	R3目標	R3実績															
		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②20,756,506円	70.0%	73.7%															
		0.02人	0人	③	R4目標																
		160千円	0人		70.0%																
413	道路建設課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	収用対象の移転先が決まらず、年度内に用地取得が完了しなかったため、目標に至らなかった。	R3年度に改善した点	13. 気候変動に具体的な対策を									
		最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加											142,290千円	131,472千円	①清柳橋上部工事(継続費)	埼玉県、清瀬市と共同で行う橋りょう改築と合わせて接続する周辺道路整備に係る工事計画に対する達成率。	橋りょうの築造にあたり、各年度で計画した業務がどれくらい達成できたかで評価する。			
		根拠法令												R3予算現額	R3決算額(見込み)	②市道2-4号線交差点改良工事					
		道路法、河川法、土地収用法												378,763千円	236,866千円	③市道1-900号線用地取得					
		事業の目的及び具体的な内容												R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績			R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析
		本市を流域を持つ柳瀬川については、埼玉県が河川整備を進めている。しかし、東川との合流点前後区間は、所沢市と清瀬市が管理者である清柳橋が妨げとなり、これまで進めてきた柳瀬川と東川の河川整備の効果が十分に発揮できない状況である。												1.59人	0人	①令和3年6月30日着工			100.0%	87.5%	市道1-900号線の道路改良工事に伴う取得予定用地の物件について、移転先が決まらず、収用対象となる建築物の撤去ができなかったことから、用地取得が年度内に完了出来なかった。
このため、今後の浸水被害の軽減を図るために、道路管理者である所沢市と清瀬市及び河川管理者である埼玉県とともに当該橋りょうの改築を進めるとともに、接続する市道1-900号線の道路改良工事に取り組むものである。		12,987千円	0人	令和4年12月竣工予定	R3目標	R3実績															
期間	H30~R7	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②令和4年3月10日完了	100.0%	68.3%															
		1.59人	0人	③558.07㎡	R4目標																
		12,688千円	0人		100.0%																

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)							
				会計	投入コスト		活動実績(R3)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)						
422	みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類	一般	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	-	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	3. すべての人に健康と福祉を	みどりのふれあいウォークについて、参加者の健康と安心の確保を最優先に、まん延防止等重点措置期間の開催は3密を伴うと判断し、共同開催者との協議のうえ中止とした。	3. 陸の豊かさも守ろう						
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		R2200万円	R22503万円										①みどりのカーテンコンテスト応募数	みどりのふれあいウォーク参加人数	ふるさとみどりの啓発事業の中で、最も大きく、又、市内住民のみならず、近隣市民も参加する一大イベントとなっているため、参加人数を指標とする。なお、令和元年度以降は、実情に即し毎年2,000人を目標とすることとした。	4. 質の高い教育をみんなに		
		根拠法令	R3予算現額		R3決算額(見込み)	②啓発用種子袋の配布数															
		ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市緑の基金条例	2,752千円		1,374千円	③みどりのふれあいウォーク参加人数															
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費		R2その他職員従事割合	実績										R2目標				R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析
		本市のブランドである豊かなみどりの保全に対する市民の理解と意識の向上を図るため、「みどりのふれあいウォーク」を開催する。また、イベントの際に緑の募金運動を実施し、参加者から寄附金を募る。さらに、夏場の省エネの推進に向け「みどりのカーテン」を市民に広く実施してもらうため、朝顔とゴーヤの種子袋を配布するとともに、みどりのカーテンコンテストを開催する。	1.70人		0人	①30件										2000				0	新型コロナウイルス感染症に係るまん延防止等重点措置実施期間中であったためイベント開催は中止とした。
期間	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②8,000袋	R3目標	R3実績																
H18~	1.77人	0人	③0	2000	0																
	14,125千円	0人		R4目標	R4実績	2000															
422	みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類	一般	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	S	R3年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	15. 陸の豊かさも守ろう	目標は達成している。パートナーの基礎的知識や技術を高めるため、平成27~29年度にかけて初級・中級・里山管理指導員派遣の講座を開催してきた。受講者から高評価をいただいております。令和3年度からは3巡目となる初級講座を開催し、令和4年度は中級講座の実施予定となる。	17. パートナーシップで目標を達成しよう						
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		5,046千円	4,472千円										①講座の開催回数	みどりのパートナー登録者数	みどりのパートナー登録者の増加が、みどりの保全及び創出につながることから、登録者数を指標とする。	どのよう貢献したか		
		根拠法令	ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例		R3予算現額	R3決算額(見込み)										②パートナー登録団体数					
		所沢のみどりのパートナー活動推進事業	6,473千円		6,240千円	③みどりのパートナー活動補助金															
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費		R2その他職員従事割合	実績										R2目標				R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析
		本市のみどりをより豊かにする市民活動を推進するため、みどりの保全及び緑化の推進に関して自発的かつ実践的な活動を行う個人又は団体を「みどりのパートナー」として登録し、このパートナーに対して情報の提供や緑化資材の助成等、育成・支援等を行う。	0.90人		0人	①4回										1400				1500	目標達成済
期間	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②59団体	R3目標	R3実績																
H24~	0.92人	0人	③4,314千円	1405	1501																
	7,342千円	0人		R4目標	R4実績	1410															
423	みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類	一般	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	S	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	13. 気候変動に具体的な対策を	目標は達成している。引き続き、みどりの基本計画の方針に基づき、地権者の理解を得ながら地域制緑地の指定、及び拡大を推進する。加えて、新規の指定対象についても検討していく。また、みどりの審議会において、みどりの基本計画に基づく施策や事業の進捗管理を行うことにより、みどりの保全や創出に係る施策や事業の推進、展開を図る。	15. 陸の豊かさも守ろう						
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		283千円	104千円										①みどりの審議会の開催回数	地域制緑地の指定件数(指定の拡大も含む)	みどりの保全には、土地所有者の協力のもと、土地利用に一定の制限を加える地域制緑地の指定が効果的なことから、指定件数を指標とした。	どのよう貢献したか		
		根拠法令	R3予算現額		R3決算額(見込み)	②ゼネラルマネージャー幹事会の開催回数															
		都市緑地法、生物多様性基本法、ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例	425千円		155千円																
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費		R2その他職員従事割合	実績										R2目標				R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析
		「所沢のみどりの審議会」において、みどりの基本計画に基づく施策や事業の進捗管理を行うことにより、みどりの保全や創出に係る事業の推進を図る。	1.20人		0人	①2回										2				5	目標達成済
期間	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②3回	R3目標	R3実績																
H21~	9,802千円	0人		6	8																
	1.18人	0人		R4目標	R4実績	9															
423	みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類	一般	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	S	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	13. 気候変動に具体的な対策を	管理の必要な保全指定地は毎年増加しているものの、特に緊急性の高い箇所から順番に管理を実施するなど、効率的な保全管理を図ることで目標を達成することができた。	15. 陸の豊かさも守ろう						
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加		73,245千円	72,267千円										①業者委託による剪定・伐採等の管理	管理作業実施面積	業者委託による剪定・伐採等の管理面積+みどりのパートナーによる除草・清掃等の管理面積+市民参加による保全緑地管理作業面積を指標とする。	どのよう貢献したか		
		根拠法令	R3予算現額		R3決算額(見込み)	②みどりのパートナーによる除草・清掃等の管理															
		ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市市民の森設置要綱、所沢市市民緑地設置要綱	91,818千円		86,657千円	③市民参加による保全管理作業															
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費		R2その他職員従事割合	実績										R2目標				R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析
		地域制緑地を指定した緑地(市民の森等)や、市の買い入れや寄附によって取得した緑地の自然環境や植生、景観を将来に引き継ぐため、高木の剪定、不良木の伐採、除草等、適切な維持管理を行う。また、市民が安全にみどりと触れ合う場を提供するため、市民に公開している緑地の園内柵や外周柵の修繕等を行う。	2.40人		0人	①20.56ha										37ha				40.25ha	目標達成済
期間	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②20.15ha	R3目標	R3実績																
H6~	2.33人	0人	③0ha	37ha	40.71ha																
	18,593千円	0人		R4目標	R4実績	37ha															

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)				
				会計	投入コスト		活動実績(R3)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)			
423	みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	目標は達成している。引き続き、豊かなみどりを守り育て、未来の子どもたちに継承していくため、緑地保全制度の指定、及び公有地化によるみどりの保全の取り組みを進める。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	13. 気候変動に具体的な対策を	15. 陸の豊かさも守ろう			
		優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	43,631千円	42,660千円	①植生調査 ②みどりの公有地化	保全配慮地区における地域制緑地の指定面積	指定面積(平成22年度からの累積(平成29年時点累積55ha)とし、令和10年度までに110haを目指すものである。)	R3目標値が未達成の理由・分析									
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	実績											R2実績	R2実績	
		里山保全地域等指定整備事業	事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①4,202㎡ ②10,506㎡	R3実績	R3実績	R3目標値が未達成の理由・分析									
			市内に残された貴重な緑地を保全し未来の子どもたちにふるさと所沢のみどりを継承するため、緑地保全制度の指定を行うとともに、適切に管理するための方針となる保全管理計画を策定する。また、相続や開発等により消失の恐れがある緑地について、土地の取得(寄附受入を含む)により、公有地化を行う。	1.55人	0人											R2目標	80ha	95.97ha
			期間	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合											R3目標	85ha	96.30ha
		H24~	11,810千円	0人	R4目標	90ha												

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
				会計	投入コスト		活動実績(R3)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)
423	みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	目標は達成している。関係事業の進捗管理を行うため、引き続き、みどりコトコ・プロジェクト会議を定期開催し、関係各課から意見を聴取し、事業間の連携強化に努める。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	13. 気候変動に具体的な対策を	
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	0千円	①関係課数	みどりコトコ・プロジェクト(関連事業)数	水とみどりがつくるネットワーク計画は、関係課等が横断的な取り組みを行うことで、ネットワーク構築の実現を目指すものであることから、進捗管理を行うみどりコトコ・プロジェクト(関連事業)数を指標とする。							
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②庁内会議開催回数										
		所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略、所沢市みどりの基本計画、所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画	627千円	627千円	③当該年度に完了した関連事業										
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	R2目標	R2実績			R3目標値が未達成の理由・分析						
水とみどりがつくるネットワーク計画推進事業	水とみどりがつくるネットワーク計画は、水やみどりとまちのにぎわいや魅力を結ぶ散策路を設定し「人を中心としたまちづくり」の実現を目指すものとなる。関連事業を相互に連携させ、進捗確認を行いながら、狭山丘陵と中心市街地、ところざわサクラタウンなどの拠点の運動性を意識した、散策路整備や魅力発信を推進する。	0.50人	0人	実績	60事業	87事業	目標達成済								
期間	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	R3目標	R3実績											
R2~	0.50人	0人	①15課	60事業	89事業										
	3,990千円	0人	②1回	R4目標	R4実績										
			③3事業	60事業											
423	みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	目標は達成している。事業用地の調査・検討から設計、整備まで多額の事務を経る必要があるため、年間を通じて綿密なスケジュール管理を行い、目標を達成することができた。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	13. 気候変動に具体的な対策を	
		最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	—	—	①実なる木の導入	整備箇所数	事業用地の調査・検討、貸借契約、設計・工事委託、開設等の事務を経て、年に一箇所の整備を目標とする。							
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②雨水浸透施設の設置										
		所沢市みどりの基本計画、所沢市マチごとエコタウン推進計画	5,200千円	4,367千円											
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	R2目標	R2実績			R3目標値が未達成の理由・分析						
みどりのエコスポット整備事業	まちなかの低未利用地について、市民の憩いの場を整備するとともに、みどりの貴重なまちなかの動植物の生息、生育地を創出するものである。また、整備により無秩序な開発の抑制、良好なまちなみ景観や生活環境の形成、生物多様性への貢献、ヒートアイランド現象等の環境負荷の低減、雨水流出の抑制等が期待できるものである。	0.00人	0人	実績	—	—									
期間	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	R3目標	R3実績											
R3~	0千円	0人	①1本	1	1										
	0.55人	0人	②1箇所	R4目標	R4実績										
	4,389千円	0人		1											
423	みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	目標は達成している。水田耕作には地元・関係団体との協力が欠かせないことから、引き続き協力をあおぎながら取り組みを進めていく。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	13. 気候変動に具体的な対策を	
		最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	—	—	①田植え作業実施	貸借契約、公有地化により水田を保全・担保した面積	地元・関係団体との協働により実施可能な耕作範囲について、市で地権者より借り受け、ないし公有地化により保全・担保した面積を目標とする。							
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②稲刈り作業実施										
		ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市みどりの基本計画	14,237千円	13,333千円											
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	R2目標	R2実績			R3目標値が未達成の理由・分析						
水田景観保全事業	上山口堀口天満天神社周辺里山保全地域内に残されている貴重な水田を保全し、良好な都市環境の維持と多様な生物の生息・生育空間の確保を図るとともに、豊かな里山の景観を引き継いでいくことを目的とするものである。	0.00人	0人	実績	—	—									
期間	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	R3目標	R3実績											
R3~	0千円	0人	①1回	0.35ha	0.38ha										
	0.80人	0人	②1回	R4目標	R4実績										
	6,384千円	0人		0.35ha											
423	公園課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	取得対象者の変更により目標値を下回ったため。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを		
		最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	0千円	①用地購入	用地取得面積	事業の進捗を図るためには、用地確保が最重要となることから用地取得面積を目標値としている。							
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②										
		都市公園法・都市緑地法	476,809千円	476,267千円	③										
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	R2目標	R2実績			R3目標値が未達成の理由・分析						
北秋津・上安松地区都市緑地保全事業	北秋津・上安松地区は、所沢市みどりの基本計画において、みどりの保全を重点的に推進する北秋津周辺保全配慮地区に位置付けられている。本地区では、土地区画整理事業を基本とした、まちづくり事業が行われており、地区内には柳瀬川段丘崖の斜面林や、平地林のまとまりのある貴重なみどりが存在している。本事業は、これらのみどりを保全するため、令和2年度に都市緑地として都市計画決定した用地を取得するとともに、みどりの保全及び管理を行うものである。	0.00人	0人	実績	—	—									
期間	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	R3目標	R3実績											
R3~	0千円	0人	①3222.12㎡	3600.08㎡	3222.12㎡										
	1.95人	0人	②	R4目標	R4実績										
	15,561千円	0人	③	2323.18㎡											

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
				会計	投入コスト		活動実績(R3)	成果指標			総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
423	河川課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠			A	成果指標の目標を達成している。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	200千円	200千円	①活動団体数	活動団体数	地域に根付いた親しみのある多自然川づくりへの要望があることから、市との協働による多自然の川づくりを行う活動団体数を指標とする。					特になし。	12. つくる責任 つかう責任		
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	200千円			200千円	R2目標	R2実績			R3目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	0.50人	0人	2団体	2団体	河川の保全活動に取り組んでいる団体の活動状況と、活動箇所の整備状況について調査を行う。	草刈り等を行い、水流れの保全に努めた。また、ホタル等の生物の保護に努めた。						
		期間	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	4.084千円	0人	R3目標	R3実績	目標達成済							
		H22~	0.35人	0人	2,793千円	0人	R4目標	4団体								
423	河川課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠			A	成果指標の目標を達成している。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを		
		最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	10,994千円	10,212千円	①東川桜枝剪定	東川遊歩道整備延長(H30~R2) 東川桜枝剪定延長(R3~)	R2年度までは、東川遊歩道整備延長を指標としていたが、R2年度で遊歩道整備が完了したため、R3年度からは、東川桜枝剪定延長を指標とする。					特になし。	12. つくる責任 つかう責任		
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	5,500千円			5,488千円	R2目標	R2実績			R3目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
		河川法	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	0.70人	0人	195m	195m	目標達成済	今後は桜並木と遊歩道の維持管理を中心に進めていく。桜は、老木化、大木化しているものが多いため、倒木に注意する必要がある。				桜の剪定等を行い、桜並木の保全に努めた。		
		事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	5,718千円	0人	R3目標	R3実績	1,490m	1,490m						
		期間	0.75人	0人	5,985千円	0人	R4目標	1,120m								
423	河川課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠			A	成果指標の目標を達成している。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	50,800千円	49,997千円	①砂川堀散策路整備	砂川堀散策路整備延長	安全に通行できる散策路整備を進めるため、地元住民や水辺のサポーター制度に登録されている団体等と意見を交換しながら、事業を進めていく。					特になし。	12. つくる責任 つかう責任		
		根拠法令	R3予算現額	R3決算額(見込み)	58,100千円			57,255千円	R2目標	R2実績			R3目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
		所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	0.85人	0人	160m	163.38m	目標達成済	寺山橋より下流の散策路整備は、自然護岸及び希少植物の保全に努めるようにする。				ウッドチップによる歩きやすい散策路を整備した。		
		事業の目的及び具体的な内容	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	6,943千円	0人	R3目標	R3実績	200m	208.13m						
		期間	1.00人	0人	7,980千円	0人	R4目標	600m								

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
				会計	投入コスト		活動実績(R3)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)
431	リサイクルふれあい館	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	「もったいないの心推進事業」の実績値の増加よりも増加幅が大きい。リサイクルふれあい館の来館者数が増えていることがわかる。R3年度についても、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながらの運営であったため、明確な増加理由は不明だが、今後も適切な周知を進めるとともに、可能な限り通常どおりの事業をおこなっていく必要性を感じている。	R3年度に改善した点	13. 気候変動に具体的な対策を		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	8,222千円	10,625千円	①リサイクルふれあい館及び東所沢エコステーション来館者数	来館者数(リサイクルふれあい館は、正面玄関自動ドアカウンターによる)	目標設定の考え方・根拠	啓発施設であるリサイクルふれあい館及びリユース、リサイクル品の引き取り場所である東所沢エコステーションについて、一人でも多くの市民に施設の存在を知ってもらい、活用していただくことが目的であることから実績を基にしている。			14. 海の豊かさを守ろう			
		根拠法令	循環型社会形成推進基本法、所沢市リサイクルふれあい館条例、所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②講習会参加人数						15. 陸の豊かさを守ろう			
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
		①小学4年生社会科見学等見学者の印象に残る館内展示(遊び心を取り入れた)わかりやすい解説で環境学習を充実する。②催事の企画開催(エコまつり、エコロ市、出張エコロ市)等による市民へのPR事業。③市民フェスティバル等への積極的参加によるPR活動。④館内展示のほか、ホームページや情報誌発行による情報提供の研究。⑤暮らしの中で3R(Reduce/リデュース=発生抑制、Reuse/リユース=再利用、Recycle/リサイクル=再生利用)を実践するための場として、おもちゃの病院や傘修理、各種講座等の開催。	1.65人	1.5人	①64,628人	30,000人	60,040人		市民ニーズに対応した講座の開催を目指すとともに、所沢市西部の市民もリサイクルふれあい館の運営を広報し、来館者増につなげる。						
		期間	H15~	R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	②26人	R3目標	R3実績	目標達成済			どのように貢献したか			
		1.50人	1.5人		50,000人	64,628人		多くの市民に3Rや「もったいないの心」について知ってもらうことで、市民一人一人の環境意識の向上に貢献した。							
		11,970千円			R4目標			評価者	資源循環推進課長 山屋 貴裕						
433	資源循環推進課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	評価指標の目標値をやや下回っているが、用地取得については、一定の成果が得られた。今後も、引き続き、地権者へ丁寧な説明を行い、事業への理解を得ながら進めていく。	R3年度に改善した点	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに		
		最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	547,403千円	517,831千円	①建設事業者との契約締結	事業進捗状況(土地の取得率)	目標設定の考え方・根拠	自区内処理の原則に基づき、新たな最終処分場を整備する必要があるため、各段階における成果指標を設定した。事業進捗に伴う土地の取得率を成果指標とした。			11. 住み続けられるまちづくりを			
		根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②用地購入(建設予定地)						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析				最終処分場の供用開始に向け、計画的に設計・工事を進める。地元周辺整備要望については、より一層丁寧に説明を行い、理解を得ながら事業を進めていく。			
		市内で発生する一般廃棄物の最終処分については、市外の最終処分場と市内の北野一般廃棄物最終処分場で行ってきたが、北野一般廃棄物最終処分場は平成17年3月末日をもって埋立が終了した。現在は全量を県営の処分場や県外の民間処分場へ搬出していることから、自区内処理の原則に基づき、市内に新たな一般廃棄物最終処分場を整備する事業である。	4.80人	1人	①R4.3議会 議決を得る	43.0%	38.0%	目標値の4%に対し、2%の実績であり、目標値を下回った。用地取得については、地権者の理解が必要であり、引き続き、理解が得られるよう丁寧な説明を行う。	どのように貢献したか						
		期間	H11~	39,206千円		②1,028.06㎡	R3目標	R3実績				用地を取得することにより、事業の推進を図った。			
		5.80人	1人		4.0%	2.0%		評価者	資源循環推進課長 山屋 貴裕						
		46,284千円			R4目標										
433	収集管理事務所	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値を下回ることができ、目標を達成することができた。今後も経費削減に努めていきたい。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	53,672千円	47,351千円	①年間ごみ収集量	1トンあたりの収集経費 年間経費÷年間ごみ収集量	目標設定の考え方・根拠	生活ごみの効率的な収集を目的としているので、1トンあたりの収集に係る経費を指標とする。目標値としては、前年度を下回ることを指標とした。			使用状況の悪いごみ集積所の維持管理の啓発や新型コロナウイルス蔓延防止のため、ごみの排出方法についてポスターを貼るなど、市内の衛生状況改善へ向けて啓発活動を行った。			
		根拠法令	所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②年間経費						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析				本事業は、家庭から排出されるごみの分別による資源物の有効活用を促進し、循環型社会の確立を目指すものであり、市民の理解と協力が必要であることから、ごみの分別についての啓発や指導を引き続き行っていく。			
		市民の生活ごみとして、ごみ集積所に排出された廃棄物の適正処理及び再資源化により、公衆衛生環境の向上及び循環型社会の確立を実現するため、ごみの分別を徹底し、効率的に収集を行う。また、これに伴うごみ集積所の設置・維持管理についての指導及び清掃車両の整備並びにごみ集積所情報管理システムの運用管理を行う。	51.67人	2.25	①19,262t	23,623円/t	23,452円/t	目標達成済	どのように貢献したか						
		期間	S26~	422,041千円		②428,037千円	R3目標	R3実績				生活に伴って排出される家庭ごみを安定的に収集運搬することは、生活の基盤に不可欠なものとして貢献している。			
		47.83人	1.05		23,452円/t	22,221円/t		評価者	所長 齋藤 洋一						
		381,683千円			R4目標										
433	収集管理事務所	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値を上回り、目標を達することができた。今後も利用拡大に努めていきたい。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を		
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,389千円	1,387千円	①年間利用世帯数	年間利用世帯	目標設定の考え方・根拠	当制度について、周知・啓発し、利用拡大を図るため、年間利用世帯数とする。目標としては、年間利用予定世帯数を指標とした。			希望者へは安否確認を行っているため、事業内容には福祉的な側面が強い。そのため、より細やかな対応や利用者の異常事態を把握出来るよう研修を行った。			
		根拠法令	所沢市ふれあい収集実施要綱	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②年間利用予定世帯数						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析				今後、「ふれあい収集」の利用者の増加が見込まれることから、担当者の育成をはじめ、情勢の変化へ臨機応変に対応できるように、収集体制について検討していく必要がある。			
		高齢又は障害等により、家庭から排出するごみを自らごみ集積所に出すことが困難な市民の生活環境の向上及び安全確保のため、当該事業利用者宅の戸口において直接ごみの収集を行う。さらに、希望者には、声かけを行い安否確認を行う。	6.53人	0.3	①781世帯	660世帯	729世帯	目標達成済	どのように貢献したか						
		期間	H17~	53,337千円		②750世帯	R3目標	R3実績				高齢者など自らごみ集積所にごみを出すことが困難な市民の生活環境の向上と安全確保に貢献している。			
		6.85人	0.3		750世帯	781世帯		評価者	所長 齋藤 洋一						
		54,663千円			R4目標										

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)							
				会計	投入コスト		活動実績(R3)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)						
441	環境対策課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	毎年、成果指標の目標値を達成しているため。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	3. すべての人に健康と福祉を								
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加											2,047千円	1,806千円	①行政によるばい煙測定実施事業所	大気規制対象事業所のばい煙に係る排出基準適合率	規制対象事業所への立入検査により、各施設から排出される汚染物質を削減し、大気汚染を防止することが当該事業の目的となっているため、行政測定を行うばい煙に係る排出基準適合率を指標とする。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	3. すべての人に健康と福祉を
		根拠法令	大気汚染防止法、埼玉県生活環境保全条例、所沢市ダイオキシン類等の汚染防止に関する条例											R3予算現額	R3決算額(見込み)	②基準適合事業所数					
		事業の目的及び具体的な内容	2,198千円											1,851千円	③						
		期間	S59～											R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績					
0.69人	0人	100.0%	100.0%	R3目標	R3実績	目標達成															
441	環境対策課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	毎年、成果指標の目標値を達成しているため。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を									
		重要	□ 自治事務 ■ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加										23,421千円	22,003千円	①有効調査項目	有効調査項目率	事務処理基準に基づき、大気汚染に係る計測・調査を行うことが目的となっているため、有効調査項目率を指標とする。目標値としては、前年度維持を目標とした。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	3. すべての人に健康と福祉を	
		根拠法令	大気汚染防止法										R3予算現額	R3決算額(見込み)	②調査項目数						
		事業の目的及び具体的な内容	23,297千円										22,355千円	③							
		期間	S60～										R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績						R2目標
0.81人	0人	100.0%	100.0%	R3目標	R3実績	目標達成															
441	環境対策課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	毎年、成果指標の目標値を達成しているため。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を									
		重要	□ 自治事務 □ 法定受託事務 ■ 法定受託＋附加										4,606千円	4,975千円	①有効調査項目	有効調査項目率	有害大気汚染物質に係る環境基準設定項目を中心として、大気汚染状況を常時監視することを目的としているため、有効調査項目率を評価指標とした。また、目標値は前年度同様100%とした。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	3. すべての人に健康と福祉を	
		根拠法令	大気汚染防止法										R3予算現額	R3決算額(見込み)	②調査項目数						
		事業の目的及び具体的な内容	5,303千円										4,743千円	③							
		期間	H9～										R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績						R2目標
0.38人	0人	100.0%	100.0%	R3目標	R3実績	目標達成															
442	環境対策課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	計画どおり立入検査を実施したため。	R3年度に改善した点	12. つくる責任 つかう責任									
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加										1,638千円	1,487千円	①立入計画事業所数	計画実施率 立入検査を行った事業所数/立入計画事業所数×100	定期的に立入検査を行うことにより、事業所の水質規制遵守への関心の向上並びに意識低下の防止が期待されるため、計画実施率を指標とする。	R3年度に改善した点	14. 海の豊かさを守ろう	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	
		根拠法令	水質汚濁防止法、埼玉県生活環境保全条例										R3予算現額	R3決算額(見込み)	②立入検査を行った事業所数						
		事業の目的及び具体的な内容	1,112千円										1,001千円	③							
		期間	S62～										R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績						R2目標
0.66人	0人	100.0%	94.4%	R3目標	R3実績	目標達成															

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)							
				会計	投入コスト		活動実績(R3)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)						
442	環境対策課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	埼玉県及び所沢市が定めた公共用水域測定計画に基づき、市内主要河川の水質と河川の低質の評価を行うこと。また、河川の汚濁状況を監視し、水質汚濁防止法に係る施策や令和3年度における基礎資料を得ることを目的としているため、その実施項目率を指標とする。	R3年度に改善した点	6. 安全な水とトイレを世界中に	14. 海の豊かさを守ろう								
		重要	事業の目的及び具体的な内容											R3予算現額	R3決算額(見込み)	①測定項目	実施項目率 (測定項目/計画項目×100)	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析	
		根拠法令	埼玉県および所沢市が定めた公共用水域水質測定計画に基づき、pHなどの生活環境項目、カドミウムなどの健康項目等について、市内主要河川の水質と河川底質の調査を行う。											6,129千円	6,119千円	②測定地点					
		水質汚濁防止法	また、市内主要河川の水質と河川底質(川底の泥)の環境基準項目等を中心として、河川の汚濁状況を監視し、水質汚濁防止に係る施策の基礎資料を得ることを目的とする。											6,514千円	6,308千円	③					
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費											R2その他職員従事割合	実績	R3目標					R3実績
		期間	0.57人											0人	①89項目	100.0%					100.0%
S62~	4,656千円	0人	②13地点・年12回	100.0%	100.0%																
		0.46人	0人	③	100.0%																
		3,671千円	0人																		
442	河川課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	河川工事等や植物の光合成による突発的なBOD、pHの基準超過が見られるものの、生活排水由来の汚濁も考えられることから、採水時以外も河川状況を把握しておく必要がある。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	13. 気候変動に具体的な対策を								
		重要	事業の目的及び具体的な内容											R3予算現額	R3決算額(見込み)	①維持管理(清掃)	要望・通報処理件数	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析	
		根拠法令	1、河川の氾濫による浸水被害等の防止を図るため、改修・整備を行う。											37,022千円	36,575千円	②要望・通報件数					
		-	2、パトロールや市民等の要望により、清掃・除草および修繕等を行う。											53,687千円	53,085千円	③改修・整備工事					
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費											R2その他職員従事割合	実績	R3目標					R3実績
		期間	4.65人											0人	①3,928m	250件					270件
S25~	37,981千円	0人	②311件	250件	311件																
		5.45人	0人	③491m	250件																
		43,491千円	0人																		
444	環境対策課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	S	公害苦情相談は、相談者の感覚に起因するものが多く、対応が困難で解決までに時間を要するが、今後も目標達成に努めていきたい。今後も、処理困難な案件が増加する事が推測されるが、より一層知識を深めて、相談者への適切かつ迅速な対応を図る必要がある。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを									
		重要	事業の目的及び具体的な内容											R3予算現額	R3決算額(見込み)	①苦情相談対応件数	苦情相談解決率 (解決件数/対応件数×100)	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析	
		根拠法令	騒音、振動、悪臭をはじめとする各種公害にかかる苦情相談を電話・メール・窓口等を通して受け、苦情発生源の調査、指導、助言等を行い解決を図る。											4,872千円	4,775千円	②苦情相談解決件数					
		公害紛争処理法	R2正規職員人件費											R2その他職員従事割合	③	93.8%					96.5%
		事業の目的及び具体的な内容	2.06人											0.5人	①108件	94.1%					99.1%
		期間	16,826千円											1人	②107件	94.4%					
S47~	1,79人		③																		
		14,284千円																			
444	生活環境課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	C	コロナの関係で参加への制限を設ける中で、今後もより多くの市民が継続的に参加できるよう、工夫が必要である。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	3. すべての人に健康と福祉を								
		重要	事業の目的及び具体的な内容											R3予算現額	R3決算額(見込み)	①ごみ回収実績	環境美化活動における参加人数	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析	
		根拠法令	「環境美化の日」市内一斉美化清掃活動実施要領											5,367千円	3,703千円	②参加人数					
		「環境美化の日」市内一斉美化清掃活動事業	R2正規職員人件費											R2その他職員従事割合	実績	48,680人					13,341人
		事業の目的及び具体的な内容	0.99人											0人	①50.07t	49,286人					30,094人
		期間	8,086千円											0人	②30,094人	49,762人					
S57~	1,01人	0人																			
		8,060千円	0人																		

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)												
				会計	投入コスト		活動実績(R3)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)											
444	生活環境課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	C	環境推進員は、市の環境政策と連携した活動として、ごみ減量・リサイクル・地域での環境美化活動などを推進している。令和3年度もコロナ関係でほとんどの活動が中止されたため、これまでのような活動実績は残せなかったが、活動が行えるよう工夫が必要である。	R3年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	3. すべての人に健康と福祉を												
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加											12,912千円	12,307千円	①委嘱人数	環境推進員1人あたりの活動回数	環境推進員それぞれが2ヶ月に1度程度の活動を行うと期待したもの	R3年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	3. すべての人に健康と福祉を				
		根拠法令	R3予算現額											R3決算額(見込み)	②事業参加延べ人数										
		所沢市環境推進員設置要綱	12,750千円											11,350千円	R2目標	R2実績						R3目標値が未達成の理由・分析	以前の生活に戻れば各地区独自の活動を進めるよう、情報提供を行うとともに、環境美化の日、歩きたばこ等防止啓発キャンペーン、環境講演会などの全地域対象の事業の参加者の増加に努める。	11. 住み続けられるまちづくりを	17. パートナリーシップで目標を達成しよう
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費											R2その他職員従事割合	6回	1.9回									
		ごみ減量・リサイクル・および地域での環境美化を推進し、市民の環境保全に対する意識を高め、理解を深めることにより、健康で潤いのある生活環境を作る。	0.73人											0人	R3目標	R3実績									
5,963千円	0人		6回	3.0回																					
0.77人	0人		R4目標																						
6,145千円	0人		6回																						
期間	H8～			実績	①1,089人	②3,248人																			
444	生活環境課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	年々高齢化や金銭的理由等によりあき地の除草を行うことができない所有者が増えているなかで、一定の実績をあげることができた。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	17. パートナリーシップで目標を達成しよう												
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加											1,120千円	667千円	①指導箇所	改善箇所÷指導箇所	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	17. パートナリーシップで目標を達成しよう					
		根拠法令	R3予算現額											R3決算額(見込み)	②改善箇所										
		所沢市あき地の雑草除去に関する条例	1,206千円											342千円	③改善率										
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費											R2その他職員従事割合	100%	78.0%									
		あき地が適正に管理されずに雑草が繁茂すると、火災、犯罪の発生、害虫の発生、ゴミの不法投棄などの原因になることから定期的にあき地の雑草繁茂状況を調査し、繁茂状況により土地の所有者(管理者)に対し、雑草の除去を行うよう指導する。	2.04人											0人	R3目標	R3実績									
16,663千円	0人		100%	82.8%																					
2.06人	0人		R4目標																						
16,439千円	0人		100%																						
期間	S44～			実績	①58箇所	②48箇所	③82.8%																		
444	生活環境課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	成果指標の目標は達成しており、継続的な成果が得られている。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	6. 安全な水とトイレを世界中に												
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加											20,494千円	10,807千円	①くみ取り件数	衛生側面からの納得度	くみ取り件数ーくみ取り作業への苦情件数)÷くみ取り件数	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	6. 安全な水とトイレを世界中に				
		根拠法令	R3予算現額											R3決算額(見込み)	②くみ取り量										
		所沢市一般家庭生活廃水くみ取りに関する条例	19,154千円											14,250千円	③くみ取り手数料										
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費											R2その他職員従事割合	100%	100%									
		下水道未整備地区で生活廃水の吸込槽が機能低下によりあふれてしまうことを防ぐため、たまった生活廃水のくみ取りを行うことにより、周辺の衛生的な生活環境を保持する。	0.39人											0人	R3目標	R3実績									
3,186千円	0人		100%	100%																					
0.37人	0人		R4目標																						
2,953千円	0人		100%																						
期間	S46～			実績	①785回	②1,974,100回	③1,184,460円																		
444	生活環境課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	所沢狂犬病予防協会や市内動物病院と連携して集合狂犬病予防注射や注射済票仮交付を行い、犬の飼育活動などの実施により、ある程度結果は残せたが、7割の接種率だったため。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	17. パートナリーシップで目標を達成しよう												
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加											5,192千円	5,070千円	①新規登録枚数	狂犬病予防法に犬の所有者は狂犬病予防注射を毎年1回受けさせなければならないとなっている。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	17. パートナリーシップで目標を達成しよう					
		根拠法令	R3予算現額											R3決算額(見込み)	②登録頭数										
		狂犬病予防法	4,446千円											3,714千円	③注射済票交付枚数										
		事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費											R2その他職員従事割合	100.0%	70.1%									
		狂犬病予防法に基づき、狂犬病の発生、蔓延を防ぐため、市内で飼育されている犬の情報を登録し、狂犬病の接種状況を管理する。犬の鑑札および注射済票の交付を行うとともに、所沢狂犬病予防協会や市内動物病院と連携して集合狂犬病予防注射や注射済票仮交付を行うことで、予防接種接種率の向上を図っている。	1.13人											1人	R3目標	R3実績									
9,230千円	1人		100.0%	76.8%																					
1.20人	1人		R4目標																						
9,576千円	1人		100.0%																						
期間	H12～			実績	①1,515枚	②15,038頭	③11,542枚																		

計画コード	所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
				会計	投入コスト		活動実績(R3)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)
444	生活環境課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	概ね条例の内容は周知され、喫煙者のマナーも向上していると考えられるため。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを 16. 平和と公正をすべての人に	
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	5,526千円	4,876千円	①駅前キャンペーン実施箇所	市内4カ所(主な駅前)の平均路上歩行者喫煙率(成人歩行者に対する歩行喫煙者の割合)	条例を周知し、遵守することで危険、迷惑な歩きタバコや路上喫煙行為をなくすため、目標は違反者が0パーセントであること。						
		根拠法令	所沢市歩きタバコ等の防止に関する条例	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②路面シートの貼付枚数								
		事業の目的及び具体的な内容	危険、迷惑な歩きタバコ、ポイ捨てをなくし、喫煙者のマナー向上を図るため、キャンペーン、パトロール等による条例の周知啓発活動を実施するとともに、喫煙禁止地区での禁煙を徹底するため、路上喫煙禁止地区内の路面シートの貼付や指定喫煙所の維持管理を行う。	4,484千円	3,979千円	③歩きタバコ等防止/パトロール実施回数	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析					
		期間	H18~	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	0%	0.08%	条例制定前は2.19パーセントであった歩行喫煙率がほぼ10分の1となっており、条例の周知は進んでいると考えられるが、マナーを守らない喫煙者が少数見受けられる。					
				1.14人	0人	①コロナ関係で中止	R3目標	R3実績						
				9,312千円	0人	②40枚	0%	0.06%						
		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	③14回	R4目標	R4実績								
		1.27人	0人		0%									
		10,135千円	0人											
445	環境対策課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	毎年、成果指標の目標値を達成しているため。	R3年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を 11. 住み続けられるまちづくりを	
		重要	□ 自治事務 ■ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	2,438千円	2,400千円	①調査検体数	調査実施率(有効調査検体数/調査計画検体数×100)	埼玉県の実施計画で、大気:3地点を4回/年、河川水・底質:各2地点を1回/年、土壌:2地点を1回/年、地下水:1地点を1回/年の年19検体が測定数として定められているため、すべての項目を市で実施することを目標として設定している。						
		根拠法令	ダイオキシン類対策特別措置法	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②調査計画検体数								
		事業の目的及び具体的な内容	大気については埼玉県が定めたダイオキシン類大気常時監視実施計画に基づき、河川水についてはダイオキシン類対策特別措置法に基づく常時監視(公共用水域)実施計画に基づき、また、土壌・地下水については地下水質測定計画に基づき、ダイオキシン類にかかる環境調査を行う。また、ダイオキシン類による大気・水質・土壌等の汚染状況を常時監視し、ダイオキシン類による汚染対策に係る施策の基礎資料とする。	2,398千円	2,229千円	③	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析					
		期間	H9~	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	100.0%	100.0%	目標達成済					
				0.37人	0人	①19検体	R3目標	R3実績						
				3,022千円	0人	②19検体	100.0%	100.0%						
		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	③	R4目標	R4実績								
		0.42人	0人		100.0%									
		3,352千円	0人											
445	環境対策課	実施計画ランク	事業の種類	R2予算現額	R2決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を達成しているため、一定の成果を上げられていると考える。	R3年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	
		重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	131千円	302千円	①継続的な空間放射線量測定	調査実施率(測定数/調査数×100)	市民生活における空間放射線の影響の確認のため市内10地点での測定を指標とした。						
		根拠法令	-	R3予算現額	R3決算額(見込み)	②除染土壌仮保管場所定期測定								
		事業の目的及び具体的な内容	市内の放射線量を定期的に測定し、その結果等の情報を市民に公表するとともに、市民への測定器貸出や相談などの対応を行う。また、放射線に係る環境汚染の実態を継続的に把握することで、市民の不安を軽減するための根拠資料とする。	140千円	117千円	③測定結果公表	R2目標	R2実績	R3目標値が未達成の理由・分析					
		期間	H23~	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	実績	100.0%	100.0%	目標達成済					
				0.43人	0人	①市内10地点での測定回数1地点・1回/3ヶ月	R3目標	R3実績						
				3,512千円	0人	②保管場所×2回/年	100.0%	100.0%						
		R3正規職員人件費	R3その他職員従事割合	③市ホームページ、各まちづくりセンターにポスター掲示	R4目標	R4実績								
		0.54人	0人		100.0%									
		4,309千円	0人											